

# 大和郡山城下町として大切にしたい建物50選

～前田家住宅聞き取り調査の記録～



## 【建物概要】

建物名称：前田家住宅

所在地：堺町

当初の用途：呉服屋

現在の用途：住居

建造時期：

江戸末期～明治初期

昭和初期に2階を増築

構造規模：木造

切妻2階建

(調査日：平成26年10月5日)

## 【建物現況と周辺状況】

屋根瓦・外装・床・キッチンなどリフォームがなされ、建物維持管理状況は良好。ご祖母様が昭和初期に御嫁入された際に、2階を増築。1階のシャッター部は、呉服屋店舗として、一時はガレージとして使われたとのこと。堺町に残っている端正な町家として、通りに昔の面影を残す貴重な建物となっています。



## 【歴史的特徴と建築的特徴】

堺町は天正13年(1585)に豊臣秀長が入部した際に、和泉の堺から商人らを集めてつくらせた町。前田家住宅も商家の町家であり、道路側から土間、接客の間、座敷、縁側、中庭の構成となっています。接客の間には、昭和40年代までは電話室もあり、ジブリ「となりのトトロ」の大きな農家で五月が電話を借りるシーンを想起させる感じだったとのこと。座敷の天井は他室よりも高く、二重廻縁で長押も本格的。一間の床の間と違い棚や海老束のある床脇などもある立派な設えとなっており、お客様をもてなす商家の一端がうかがえます。



## 【建物の歴史・暮らしの様子・所有者の思い】

前田様は進学・就職のためしばらくは実家を離れていたが、2003年に戻られました。壊してしまうのではなく、活用できる方法を考えたいとのこと。ただし、賃貸するにしてもメンテナンスを含めたキャッシュフローを黒字化することも必要で、制度的なバックアップがないものかとも思われている。堺町という旧城下町の景観を損なうことなく、有効活用できる様、今後の用途を検討中のようです。

